

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 財産管理担当
 内線: 6648

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P1	未利用施設活用事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校建物等維持管理費			
事業期間	平成27年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築		SDGsゴール 11	
						分野施策	0806	多様な主体による地域社会づくり		SDGsターゲット 11-a	
1 事業概要 未利用施設を活用する上で必要な整備等を実施する。 未利用施設活用整備費 △13,419千円				5 事業説明 (1) 事業内容 未利用施設を活用する上で必要な整備等を実施する。 未利用施設活用整備 158,786千円→145,367千円 ア 解体設計 43,723千円→ 30,304千円 イ 鑑定及び測量等 114,983千円 ウ 調整会議の開催 80千円 (2) 事業計画 未利用施設活用整備 ア 解体設計 建物利用の見込みが薄く、建物の老朽化も著しいため、解体に向けた設計を行う。 解体設計 2校 イ 鑑定及び測量等 今後の利活用を踏まえ、鑑定及び測量等を行う。 鑑定 2校、測量 4校 ウ 旧騎西高校の利活用 地元関係者などが参画する調整会議において、未利用施設の活用案の検討を行う。 (3) 事業効果 未利用施設の早期活用のために必要な整備を行うことで、施設の活用が図られる。 【活動指標(アウトプット)】 未利用施設を外部で利活用するための鑑定・測量・解体設計等の実施 【成果指標(アウトカム)】 未利用となった県有財産の有効活用の促進 (4) 補正予算の概要 委託料が見込みを下回ったことによる減額							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 公共施設等適正管理推進事業債(集約化事業) 充当率90% 交付税措置50%(対象事業費から除却施設に係る土地 価格相当分を控除した額)											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円											
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額	
		県 債									
決定額	△13,419	△13,000						△419	145,367		
現計額	158,786	41,000						117,786			

事業内訳書

事業名	未利用施設活用事業		
単位事業名	未利用施設活用整備費	予算額	△ 13,419千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△13,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	△419	—	
合計	△13,419	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△13,419	—	見込みを下回ったことによる設計費の減
合計	△13,419	—	